

シンポジウム

中華世界

—その統合と分裂の諸相—

令和元年 **7/14** 日 13:00~16:00 (12:30 開場)

静岡県男女共同参画センター「あざれあ」2階 大会議室
(静岡市駿河区馬淵1丁目17-1)

参加無料
要事前申込
定員100名

◆プログラム

1. 開会のあいさつ (敬称略)
2. 趣旨説明
「現代の中華世界をどう捉えるか」……奈倉京子(静岡県立大学)
3. 基調講演
「中華世界へのアプローチ：中華世界と日本」
……濱下武志(静岡県立大学グローバル地域センター・センター長)
4. 報告
「一带一路と中国系移民—東南アジアを中心に—」……崔晨(拓殖大学)
「台湾と東南アジア：『南向』の系譜と現状」……玉置充子(拓殖大学)
「中国ムスリムの移動／定住とその事象次元・時間次元・社会的次元の『意味』
—雲南保山回族のイスラーム思想・記憶・コミュニティ／市民社会から—」
……首藤明和(長崎大学)
「華語語系文学の部外者—非華人作家による非母語としての中国語創作」
……及川 茜(神田外語大学)
5. コメント・全体討論
コメントーター富沢壽勇(静岡県立大学グローバル地域センター・副センター長)

主催：静岡県立大学グローバル地域センター

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠3-6-1 もくせい会館2階 静岡県立大学グローバル地域センター
TEL:054-245-5600 FAX:054-245-5603 <http://global-center.jp/> E-mail:glc@u-shizuoka-ken.ac.jp

◆開催趣旨

習近平政権が発足してから、中国は「中華民族の偉大な復興」をスローガンの一つとして掲げ、「民族」によって、国内の少数民族のみならず、香港・台湾・マカオ、海外の中華系移民の人々も包摂しようとしています。かつて「中華」を媒介とする経済的・社会的ネットワークは、広域的に、臨機応変に国家を越えた緩いつながりを形成してきました。ところが近年、中国政府がこうした横のつながりを統制しようとする動きがみられるようになりました。他方で、少数民族の国際移動や海外の中華系の若者の動向からは、「中華」からの乖離がみられ、「中華アイデンティティ」の再考が必要となっています。

このような背景を踏まえ、本シンポジウムでは、民族、国家、地域、宗教、ネットワーク等の視点から、現代の実体としての「中華世界」について検討します。そして、決して無関係ではない日本の「中華世界」への向き合い方について考えます。

◆会場のご案内

静岡県男女共同参画センター「あざれあ」2階 大会議室

(静岡市駿河区馬淵1丁目17-1)



*公共交通機関をご利用ください

電車をご利用の場合

- ・JR 静岡駅北口から徒歩9分

静鉄バスをご利用の場合

- ・大浜麻機線・中原池ヶ谷線「商工会議所前」または「馬淵1丁目」下車徒歩4分
- ・薬科線・南薬科線・西部循環線「宝台院」下車徒歩2分
- ・丸子清閑町線「西門町」下車徒歩1分

シンポジウム「中華世界—その統合と分裂の諸相—」参加申込書

下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、7月5日(金)までに、FAXまたは郵便にて「グローバル地域センター」までお送りください(必着)。ホームページ(<http://global-center.jp/>)からもお申込みいただけます。なお、定員になり次第締め切ります。

申込締切

7/5(金)
(必着)

郵送・FAX先

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠3-6-1 もくせい会館2階 静岡県立大学グローバル地域センター
FAX: **054-245-5603**

フリガナ	
氏名	会社・団体名
住所	〒
TEL	FAX
Eメール アドレス	

*ご記入いただきました個人情報につきましては、静岡県立大学が主催する講演会のご案内にのみ使用いたします。